



2025年度の活動がスタートしました

昨年度、各種会合等の回数・開催時期を変更しました。具体的には評議員会を年4回から3回へ、理事会を年9回から7回へ減らし、総代会を8月開催から7月5日に早める形で1年間事業運営を行いました。従来のスケジュールから大きく変わりはしましたが、大きな混乱もなく各事業を進めることができたのではないかと考えています。

また、5年に1度の県事協アンケートも行い、様々なご意見をいただきました。今年度は寄せられたご意見をしっかりと分析し、よりよい県事協事業の在り方を検討していきたいと思えます。

4月25日の第1回理事会をもって、2025年度の活動をスタートいたしました。「県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携する」という目的達成に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の主な事業計画

第20次県費事務改善検討委員会設置
HPの定期的な更新・充実

県事協だよりの定期発行
通知通達等のデータ収集と共有

学校事務現状報告会について

2011年を皮切りに、内容や運営方法も変化させながら開催してきましたが、今年度は一旦休止することになっています。今後については、県事協アンケート等でいただいた意見も参考にしながら、開催の是非、開催する場合はその運営方法等、1年かけて議論を行っていきます。

第20次県費事務改善検討委員会の活動

諸手当認定電算マニュアル等の更新を中心に、諸手当認定・電算マニュアル班、実務手引書班、福利厚生関係実務班に分かれ、主に夏季休業期間を使って作業を進めていきます。

また、今年度も、本県において共通認識の方が良いと思われる事例や、実態に即した質疑応答を充実させていくため、各地区から提供された質疑応答の事例の編集を行っていきますので、地区研修会や支援室等で出された事例をお持ちの方は、「質疑回答等提供用紙」にご記入のうえ、各地区の集約担当者へご提出ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

諸手当認定・電算マニュアル班

常任委員5名、各地区からの検討委員7名、担当理事5名で組織されます。

マニュアルに関する要望、加除修正部分及び、各地区からの質疑応答事例を整理・検討し、マニュアルの整備・更新作業を行います。作成されたデータは、県事協HP公開（5月頃）を行うとともに、教育用品株式会社の追録印刷サービスへ提供します。

実務手引書班

常任委員2名、各地区からの検討委員4名、担当理事1名で組織されます。

実務手引書（給与振込編・給与電算編・出力資料編・給与事務編）の編集のほか、各地区からの質疑応答事例の収集や各手引への要望、加除修正等の意見集約を行います。作成されたデータは、県事協HP公開（5月頃）を行うとともに、教育用品株式会社の追録印刷サービスへ提供します。

福利厚生関係実務班

常任委員1名、各地区からの検討委員2名、担当理事1名で組織されます。

「出産・育児」ハンドブックと、各団体（共済組合・互助組合・共助会・福利厚生事務センター）の様式記入例の整備を行います。作成されたデータは、県事協HP公開（3月頃）を行います。

県教委教職員課・総務福利課・県教職員福祉事業連絡会訪問

4月25日（金）に訪問させていただき、県費事務改善検討委員会事業等への協力をお願いしたところ、各所ともご多忙にもかかわらず丁寧に対応してくださいました。今年度も協力をいただきながら、事業運営を進められることに心から感謝いたします。

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県教職員福祉事業連絡会は、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5団体で構成する連絡会です。

公立学校共済組合鹿児島支部
鹿児島県学校生活協同組合

鹿児島県教職員互助組合
教職員共済鹿児島県事業所

鹿児島県教職員共助会

それぞれの団体の事業計画や実施状況を年2回交流しながら、互いに事業の充実に役立てています。教職員の皆様が、安心して学校等で働けるよう、事業や活動を充実させていきますので、今年度もよろしく願いいたします。

公立学校共済組合 鹿児島宿泊所 25th
「ホテル ウェルビューかごしま」の御案内
お得な利用補助制度等について御紹介します。

1 利用補助制度について

① 宿泊利用補助

組合員、被扶養者及び同伴する親族が宿泊で利用したときに、料金の一部を補助

1泊当たり	6,600円以上の利用で	3,000円補助
〃	4,400円	〃 2,000円
〃	2,200円	〃 1,000円
〃	1,100円	〃 500円

※ 補助回数 年度内12泊まで(被扶養者及び親族の補助回数は組合員に通算)

② 会食等利用補助

組合員、被扶養者及び同伴する親族が食事や宴会等で利用したときに、料金の一部を補助

1人当たり	4,400円以上の利用で	2,000円補助
〃	3,300円	〃 1,500円
〃	2,200円	〃 1,000円
〃	1,100円	〃 500円
〃	660円	〃 300円

※ おせち料理は本体価格(税抜)の半額を上限とする複数回分の補助利用可

※ 補助回数 年度内12回まで(被扶養者及び親族の補助回数は組合員に通算)

③ 慶事・法事利用補助

組合員若しくは被扶養者が、組合員、被扶養者又は親族を対象とする慶事・法事で利用したときに、料金(税抜)の2分の1を補助(上限5万円)

※ テイクアウトと仕出し料理適用可

※ 補助回数上限なし

2 イベントスペースの提供について

学校・教育機関等の教育活動をPRする場として、当施設の空きスペース(多目的ショールーム等)を無料で提供します。

※ 展示期間等お気軽に御相談ください。

TEL 099-206-3218

(受付時間9:00~18:00)

2025年4月オープン25周年



ホテルウェルビューかごしま

LINE

公式アカウント

友だち募集中



共助会の事業案内

○退会時に会費は生業資金として全額給付しています！
○定額貯金利率(0.42%)から0.60%に！



給付金の種類 充実した給付金！

結婚祝金・出産祝金・病氣慰謝料・災害見舞金・香華料・弔慰金・配偶者弔慰金・現職会員特別給付金・現職会員研修費・永続会員記念品代・新規採用祝金・現職個人会員奨励金等

貯金の種類 高利率！

規約貯金⇒年利0.312%(1年未満0.18%)

定額貯金⇒年利0.60%(5年満期、500万円まで)

※貯金事業に関する細則第16条2の改正：施行日2025.6.1

貸付金 困ったときにご相談ください！

生活資金・特別資金・住宅資金 年利率0.900%、貸付保険料0.504%。(一般貸付保険料、細則第6条2項の変更0.750%⇒0.504%。住宅・貸付保険料、細則第7条2項の改正0.504%。施行日2025/7/1)他に、教育奨学資金・引越資金があります。

保険の団体取扱 割引となりお得！(一部対象外の商品有り)

現在個人でお支払いされている保険を団体扱いに変更されると割引となりお得です。保険会社 生保15社 損保1社

福利厚生事業 超お得！

○映画鑑賞チケット購入補助事業

映画鑑賞料補助1回500円

(年度内3回まで)

「天文館シネマパラダイス」



「マルヤガーデンズシ

ネマ」「鹿屋リナシア

ター」「奄美シネマパニック」が対象 ※天パ

ラでの鑑賞はお得！セラ駐車場4時間無料！会

員割引とあわせて現職会員1000円で鑑賞！

※他映画館はシステム上提携できていません。

○鹿児島ユナイテッドFC応援企画

共助会の会員様とご家族を含めた5人までをホームゲームに4回までご招待！

○芸術鑑賞招待事業 HP(7/1~)または、7月号の共助会だよりをご覧ください。

地区活動 お得な企画がもりたくさん！

各地区に地区運営委員会を設置し、地区ごとに活動しています。現職会員も参加しやすい行事もあります。

詳細は、HPをご覧ください！



〒892-0816 鹿児島市山下町4番18号

電話 099(226)5953

FAX 099(226)5955

H P https://www.kyojo.jp

メール info@kyojo.jp

新規採用 1 年目を振り返ってもらいました

霧島市立竹子小学校 須田 葵衣

「竹子 読み方」で必死にインターネットで調べていたあの頃から、もう1年が経とうとしています。

配属先が分かったときは、竹子ってどこ？一人暮らしできるかな？と焦りと不安でドキドキしていました。最初の頃は、分からないことが分からず、教えられるがまま仕事をしている時間ばかりでした。仕事の内容を理解できずにいることや先生方の話の内容や言葉が分からず、ついていけない自分に悔しい気持ちもありました。何をすることも心配で、とにかく過去のデータと書類を確認→分からないことをピックアップ→支援室の先生方に教えていただくことを徹底する毎日でした。そんな私でも、事務室の片づけや書類整理など、今までできていなかった業務に着手したり、支援室で話題になったことや気になることに質問したりと、少しずつ自分自身の成長を実感できるようになりました。

今まで視野になかったことに目を向けると、気になることや疑問が滝のように出てくる事務の仕事の奥深さと先生方や学校を支える大きな仕事を担っている責任感が、私の仕事に対するモチベーションになっています。また、児童との距離感や関わりも新鮮な経験で、小規模校ならではの感覚を感じています。正直なところ、私が小学生の時は、事務室に行ったことも事務の先生と話したこともほぼなく、児童との関わりが少なかった仕事だと思っていました。しかし、出会った日から事務室に遊びに来てくれたり、昼休みに「一緒に遊ぼう！」と誘ってくれたり、嬉しい気持ちになる瞬間がたくさんあります。また、研修などを通して、同期との関係性を深めることもできました。仕事をする上で、同期の存在はやはり心強いです。色々な困難が待っていると思いますが、同期と支えあい、助け合いながら頑張っていきたいです。それに加えて事務職員 1 年目を過ごすことなく過ごせたのは、竹子小の先生方のサポートや優しさがあってのことなので、とても感謝しています。

先生方の経験話に驚きを隠せなかったり、視点やアンテナの高さに感動してばかりだったり、毎日違う出来事があったり楽しいです。まだまだ未熟でしかない私ですが、自分に自信をもって事務職員 2 年目突き進みたいと思います。



霧島市立溝辺中学校 木下 もも

溝辺中学校は祖父の母校でした。配属先が決まる前、母と「おじいちゃんが通っていた溝辺中学校だったら面白いね。」と話していました。まさか現実になるとは思っていませんでしたが…。配属が決まった時、誰よりも祖父が1番喜んでくれたことを今でも思い出します。

しかし、喜んだのも束の間、そこからは前途多難な日々でした。何から始めればいいのか分からず、そもそも棚に並ぶファイル1つ1つに書いてある言葉の意味も分からず、そんな呪文のように見える言葉の業務を全て1人でこなさなければならないのか、と絶句するしかありませんでした。そんな右も左も分からない私が今日まで事務職員を続けることができたのは、時間を削って指導しに来てくださった他校の事務職員や支援室の先生方、私を温かく迎え入れてくださった溝辺中学校の先生方、そして、初歩的な疑問にも丁寧に答えてくださった教育事務所や教育委員会の方々のおかげにほかなりません。2年目になる今年からは、沢山の方々に教えていただいた知識を活かし、昨年度以上に自分の力で仕事をこなすことができるように尽力したいと思います。

そして、社会人になって様々な出会いがありましたが、私にとって特に大きかったのは同期との出会いです。同じ事務職員とはいえ、ベテランの方が多く中での同期の存在は、とても強い心の支えとなっています。今後も互いに助け合いながら、大切な仲間として切磋琢磨していきたいです。

私はこの1年間で多くのことを学び、失敗も沢山しました。他の職員の方に迷惑をかけてしまうことも多々ありました。今でも私は事務職員に向いていないのではないかと、思い悩む時がありますが、周囲の人々の支えにより、頑張り続けることができています。今後、立派な事務職員として成長するために、1年の間に得た学びや失敗を大きな経験とし、自分の糧にしていきたいです。そして、学校を運営していく一員として、1歩ずつ確実に成長できるよう、日々邁進していきます。

霧島市立牧園小学校 惣福 あいか

新規採用事務職員として牧園小学校に赴任してから、あっという間に一年間が経とうとしています。目の前の仕事に追われ、また、1人職ということで、やり方はこれでいいのか、きちんと理解できているだろうか間違っていることはないだろうか、常に不安や心配を抱えながら日々を過ごしていたことを鮮明に思い出します。

そんなスタートではありましたが、近隣の中学校の先生をはじめ、新採の自分をあたたかく迎え入れ、4月のかかなり忙しい時期にもかかわらず、丁寧に仕事を教えてくださった支援室の先生方のお力添えがあって、なんとか1年を乗り切ることができました。本当に本当にありがとうございました。

「先生！お絵描きしよう！」と事務室に誘いに来てくれる笑顔で元気いっぱいな児童たちと一緒に過ごして成長を見守ることができたり、自分が携わる仕事によって児童や先生方の環境をよりよくできたり、学べば学ぶだけ新しい発見や知らないことに出会える事務の仕事の面白さを実感し、ようやく少しだけ慣れてきたような感覚になっている今日この頃です。



前職での幼稚園教諭という仕事や、そこで学んだこと、出会ったたくさんの人のおかげで今の自分があるのだなということを、事務職員として一年間過ごしながら改めて感じました。その思いを忘れずに、今まで、そして、今出会うことができた先生方や支援室の先生方、同期の仲間たち、保護者のみなさん、かわいい児童たちに感謝し、事務職員として学び続ける姿勢を持ちながら、自分にできること、いずれは自分だからこそのことを少しずつ増やしていきたいと思います。

活動経過及び予定

- | | |
|-------|--|
| 4月25日 | 理事会・会計監査
県教職員課・総務福利課
・福祉事業連絡会等訪問 |
| 6月19日 | 理事会 |
| 7月4日 | 第1回評議員会・総代会
県費事務改善検討委員会
事業説明会 |
| 7月25日 | 県費事務改善検討委員会 |

編集後記

今回、始良伊佐地区から新採1年目の振り返りを寄稿していただいた。読んでみると、自分にとってはもう30年以上前のことなのに初任当時のことが思い出され、ほっこりした気持ちになった。それとともに、こんな立派な文章を書き残せたっけ？と妙なライバル心が芽生えたのか、少し不安になった。

話はそれだが、自分はモノ持ちが良いというか、モノを捨てるのが得意ではない。学生時代の服も衣装ケースの中で出番を待っていたりする。そんなタチなので、振り返りを書かされた採用初年度末のPTA新聞もひっそりと残っていたりする。

ひさしぶりに引っ張り出して読み返すと、800文字程の文章の内の500文字が、3月30日の配置面接時の顛末で占められている。やっと赴任するかと思えば、やれ造形物のタヌキにおののいたのだ、学校にジャージ姿のまま登場したのだ…。人に助けられたり、迷惑をかけたりについてはほんの30文字触れただけで「感謝」的な一言は無し。なかなか残念である。

それでも濃密な1年であったことをなんとか伝えたかったのか「10年たってもこの1年のことは忘れない。初心忘るべからずという言葉もあるし…」とムリヤリ結んであった。うん…ほんとに初心を忘れてない自分。このコーナーにもきちんとした文章や結びは書けぬままで卒業しそうだもの。

國

